

PVDF系有機圧電材料の基礎と加工法および開発動向

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2503121>

◆WEBセミナー開催日時

・LIVE配信：2025年05月26日（月） 13:00～17:00

・アーカイブ：5月27日（火）～6月3日（火）

◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：(株)スズキ・マテリアル・テクノロジー・アンド・コンサルティング 代表取締役社長 鈴木 孝典 氏

【習得知識】

- ・圧電性、焦電性、強誘電性、電歪とは何か。
- ・PVDF系有機圧電材料の基礎知識から、加工方法、用途、開発動向など広い知識が得られます。

【講座の趣旨】

圧電性とは機械的なエネルギーを電気のエネルギーに変換することが出来る機能を指す。このような性能を持つ圧電材料は、その多くがセラミック系材料となっている。しかしセラミック系は脆い・硬い・製造条件が厳しいなどの問題点を抱えている。PVDFというフッ素樹脂は、樹脂材料でありながら、それ自身が圧電性を有することが知られており、性能はセラミック系には及ばないものの、樹脂であるが故のセラミックに無い材料特性をもって面白い用途展開が期待されている。特に近年ではプリントエレクトロニクスとの相性の良さ、生体への適合しやすさから注目されている材料となっている。そのPVDF系有機圧電材料の原理、加工方法、用途、市場動向などを広く解説する。

また、昨今話題となっているPFAS規制についてPVDF系圧電材料との関係にも触れておきたいと考えます。

【プログラム】

1. 圧電・焦電・強誘電性材料とは
 - 1-1 圧電性
 - 1-2 焦電性
 - 1-3 強誘電性
 - 1-4 電歪効果
2. PVDF系圧電材料
 - 2-1 PVDF系圧電材料
 - 2-2 リラクサ材料（電歪材料）
3. 用途・応用
 - 3-1 センサ
 - 3-2 アクチュエータ
 - 3-3 スピーカー
 - 3-4 ハプティクス
 - 3-5 ポンプ
 - 3-6 可変焦点レンズ
 - 3-7 表面波フィルター
 - 3-8 エナジーハーベスト
 - 3-9 電子部品（メモリ・TFT）
4. 加工方法
5. 耐熱性・耐久性

『PVDF』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>